



中村禮三ガバナー補佐、林巖副代表幹事



例会風景



岩間、中西、岡、湯川、河村、岡田(安)、二木、木野、山本(廣)、和田(アクト)、肖(アクト)、寺下
吉川、鶴山、西浦、石崎、ジェシー(留学生)、アミー(留学生)、池田、田中、福田(資)、上野、楠原、杉本(アクト)
桑田、松谷、福田(正)、大塚、奥田、中村ガバナー補佐、小島ガバナー、林副代表幹事、落合、和田、築山、武田、増田

*ad・dress [drés, dres]

n. 演説；あいさつ ((公式の))；話しかけ；提言；請願；話しぶり，応待 (のうまさ)；手ぎわ (のよさ)；あて名，住所；〔電算〕アドレス，番地；(pl.)求婚，言い寄り；((米))大統領の教書；〔ゴルフ〕アドレス．

近隣クラブ例会変更のお知らせ

幹事 和田一義

ク ラ ブ	日	時	場 所	備 考
泉 佐 野 R C	10/31(木)	休会		
	11/28(木)	12：15～	関 西 国 際 空 港	定款第5条第1節により 空港2期工事視察
藤井寺しゅらRC	11/ 7(木)		ゲロワールゴルフ倶楽部	I M 第5組 ゴルフ大会
堺 南 R C	11/11(月)	11/9(土)18：30～	ホ テ ル サ ン ル ー ト 堺	

今週のプログラム

第1877回例会

- * 日 時 平成14年10月29日(火曜日)
12時30分～13時30分
- * 司 会 (S A A)
- * ソ ン グ (唱歌委員会)
「四つのテスト」
- * お 客 様 の 紹 介 (親睦委員会)
- * 出 席 報 告 (出席委員会)
- * 諸 報 告 (会長、幹事、各委員会)
- * 卓 話 「ネットで見える現在台湾
事情」 岡田安司会員
- * 定 例 理 事 会 (13：40～)

先週の例会では

第1876回例会

- ・ 日 時 10月23日 (水曜日)
- ・ お 客 様 の 紹 介 (松原中RC親睦委員)
R12640地区2002～03年度 ガバナー 小島 哲様
副代表幹事 林 巖様
ガバナー補佐 中村禮三様
松原ローターアクトクラブ 会長 肖 麟様
幹事 和田 航様
直前会長 杉本孝子様
青少年交換受入学生 ジェシーブルエット君
- ・ 出 席 報 告 (松原中RC出席委員)

出席率 100%

10月8日修正出席率	90.90%
------------	--------

次週以降のお知らせ

- * 11月 5日(火)
・卓話「最近の暴力団情勢等」について
大阪府松原警察署 刑事課長
谷岡正通様 (三木知二会員紹介)
- * 11月10日(日)
・秋の家族親睦会(嵐山・湯の花温泉方面)
- * 11月12日(火)
・振替休会(11/10秋の家族親睦会にて例会)



小島ガバナーが公式訪問にてガバナー・アドレスを披露されました。(内容は3ページ参照)

会長の時間

会長 落合良生

本日は2640地区小島ガバナーを、お迎えしました。私は入会して20年近くになりますが、ガバナーのご訪問が終れば、年度のクラブ活動の50％は終了した印象をもって居ります。「奉仕の理想」その「奉仕の種」を一つ一つ目的の「奉仕の理想」に焦点を合わせて私共は進めているところです。

ノーベル賞も理想を超越した偉大なことです。今年度は、小柴昌俊名誉教授、田中耕一氏にノーベル賞が贈られます。ノーベル賞は、スウェーデンの化学者でもあったアルフレッド・ノーベルの遺言により、彼の莫大な遺産を基金にした、世界で最も権威のある賞である。遺書には、「候補者の国籍は、全く苦慮しないこと」「人類の福祉に、最も具体的に貢献した人々」に与えるなど、賞についての細部にわたる規定が書かれており、それは現在でも全く変えられていないという。賞は物理学・科学・生理学医学・文学・平和の5部門に分かれている。1969年からは、経済学賞が加えられたが、ノーベル賞基金とは別のもので、スウェーデン国立銀行の最も少ないのが、平和賞だった。昨年は、コフィ・アナン国連事務総長が平和賞を受賞されました。米国の同時多発テロとその報復攻撃で多くの血が流れました。ノーベル平和賞を授与する必要のない平和な国際社会が、一日も早く到来することを願いたい。



ノーベル賞のメダルと賞状

他人の落度は許すよりも忘れてしまえ

委員会報告

例会では時間の都合で割愛されましたが、タイムリーな話題なので紙面で報告させていただきます

地区ローターアクト委員会

委員 岡田安司

10月20日(日)2660-2640地区交流会に参加してきました。羽曳野コロセアムで開催され、体力測定、綱引き、障害物競走、ポートボールに興じてきました。

地区ローターアクト委員会からは、2660地区の石田肇委員長、2640地区の小西市朗委員長がそれぞれ参加されました。その後の懇親会も参加し、翌日満身創痍で、歩くのもやっとの状態でした。歳を感じさせられた1日でした。



綱引き



垂直跳び

ガバナー・アドレス

国際ロータリー第2640地区

2002-03 ガバナー 小島 哲 様

ガバナー・ノミニの義務の一つとして国際協議会への出席があります。そこでRI会長エレクトの施政方針演説があり、初めてこの年度の「RIテーマ」が発表されます(御存知の **慈愛の種を播きましょう** です)。今年度の会長、ラタクルさん、の方針は「トップ ダウン」ではなく「ボトム アップ」だと強調されました。さらに、「トップ」とか「ボトム」と言うのはやはり上下の差をつけていることなので、なるべく使いたくない。私は「グラス ルート(草の根)から」と言いたいとのことでした。

「ボトム・アップ」とは、RI会長、理事、ガバナーがクラブの活動や守るべき規則を決定するのではなく、クラブ自身が活動方針を決めるのです。何故なら、どう云う活動をすればクラブが良くなるかを知っているのはクラブ会長であり会員の皆様であると信じているからです と何度も申されました。「会員増強を考えず、現在の会員を維持する」とお考えのクラブがあっても、それはそれで結構です。各クラブで計画を立て、それを会長に報告して下さい。そして、その計画を完結できたクラブには会長賞を差し上げましょうとのことでありました。

しかし、ラタクル会長は次の4点を重点項目として挙げられております。

1. 会員増強(世界では底を打ちましたが、日本は依然減少しております)
2. ポリオ撲滅の完結(2005年の国際大会で ポリオ終結 の宣言をしたいのです)
3. 職業奉仕(やはり職業倫理を高揚させるのが大切ではないでしょうか)
4. 識字運動(約8億の人達が非識字者です。しかも、2/3が女性です)

各クラブで上記4点を考慮の上、活動方針を決定して頂きたいのです。それぞれの重点項目については地区協議会の各部門で説明し、お願いしました。会長さん方へのアンケートのお答えは、今年度の会員増強は5%強でありました。この数字は、各クラブとも増強が大切であることを十分に認識されている証拠であります。ですから、私は増強につい

ては何も申しません。どうぞ、年度末にお約束どおりの結果をお願いしたいと思っております。

奉仕活動は「その現場に足を踏み入れて」が大切です。公式訪問での卓話でお話しました「ラタクル会長と少年」、「目の不自由な方を案内したおっさん」、「ハンセン氏病の隔離病棟への奉仕」、これらは全て奉仕の現場に居られた方々の経験であります。そして、その方々は、奉仕された方の喜びを身近に感じ、相手の喜びを自分の喜びとされました。ロータリーの奉仕活動は、それでなければなりません。単に物品、資金を贈るだけでなく、「それを使った結果がどうであったのか」「どんな反応があったのか」を知って、相手の喜びを皆様の喜びにして頂きたいのです。

ロータリーの会員であることに「楽しみ」と「喜び」を感じて下さらねば、ロータリアンである理由がありません。ロータリーの様な任意団体に強制、義理、義務感から会員になっておられる方があれば、それは退会されても仕方がないことの様に思われます。何年か前に「ロータリーを楽しもう」と云うRIテーマがありましたが、全くそのとおりだと思います。どうか、全会員が「楽しみ」と「喜び」を感じて下さる様なクラブにする努力を会長さんだけではなく、会員の皆様をお願いしたいと思っております。(Enjoy Yourself in Rotary が私の信念です)

今号週報担当 寺下邦彦

本日はガバナー公式訪問として松原中RCとの合同例会が開かれました。内容は編集上当RCを中心に行っています。

また、進行の都合からか委員会報告が省されましたが、紙面におきましては委員会報告を掲載しましたのでご了承ください。

なお、例会の唱歌部分では当会よりOA・会報委員長 岡田安司のパソコンで作成したカラオケ映像「君が代」、「奉仕の理想」を初上映し皆様の前にお目見えしました。今後の唱歌の進む方向が提示されているようで興味深いものがあったと思っています。



職業奉仕月間・米山月間